

【医療機能】

⑮大腸がん手術における腹腔鏡下手術（ダヴィンチ手術）の割合

【計測対象】

分子：大腸腹腔鏡下手術件数（ダヴィンチを用いた手術）

分母：大腸腔鏡下手術+大腸開腹手術件数

【解説】

腹腔鏡下手術は開腹術と比べて非常に小さな創で済み、痛みが少なく、患者の早期回復が期待できます。また、より精緻な手術を目指し、手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術を2021年度より開始しております。

